

■ 泌尿器科専門医コース [前立腺癌特設]

<コースの全体像>

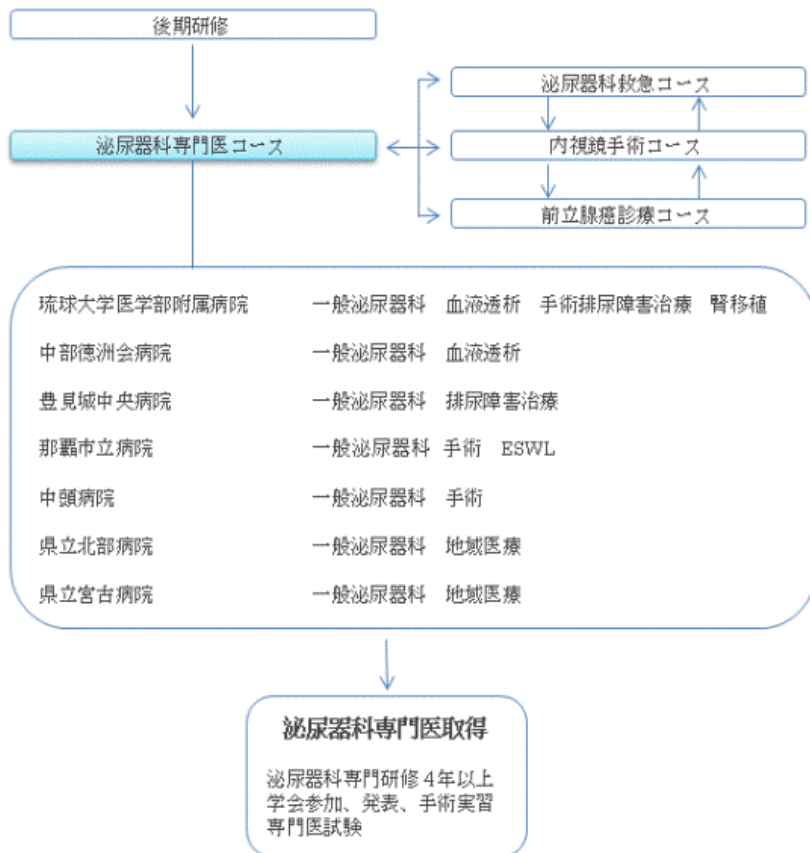
泌尿器科は、主として腎・尿路系、男性生殖器系及び副腎などに関連する多様な病態を取り扱う専門診療科であり、対象とする領域は泌尿器科腫瘍(腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍)、腎移植・透析、小児泌尿器科、尿路結石、排尿障害、助成泌尿器、内分泌外科、尿路感染症、不妊症、性機能障害など広い分野をカバーしている。これら泌尿器疾患は、高齢化および生活様式の欧米化が進むわが国では疾病構造も大きく変化し、泌尿器科領域の前立腺癌、前立腺肥大、尿失禁、婦人尿路疾患や慢性腎不全患者の増加も大きな問題となってきた。本プログラムの基本方針は、「臨床医としての倫理観、および泌尿器科学の高度な専門知識と技術を習得した泌尿器科医師を養成すること」としている。本プログラムは、泌尿器科専門医をめざす医師を対象としたもので、琉球大学泌尿器科およびその関連施設における計4年間の専門医教育を定めたものである。

本コースでは前立腺癌診療に特化したサブスペシャリティコースを並行または連続して履修することができる。前立腺癌は診断技術の向上、社会の高齢化に伴い、我が国において急激に増加している疾患の一つであり、国民の間でも関心が高まっている。それに伴い、泌尿器科では、前立腺生検や前立腺癌症例に対する手術が増加しており、泌尿器科研修においては、前立腺癌診療、手術がますます重要となってくる。前立腺癌に対する手術である前立腺全摘除術は、罹患臓器の摘出のみならず、術後のQOL低下を防ぐため、尿禁制の保持、勃起神経温存を必要とされ、泌尿器癌手術の中でも難易度の高い手術である。本サブスペシャリティコースでは下記関連病院と連携して、外来診療、手術における術者・助手を務めることにより、前立腺癌診療、前立腺生検、前立腺癌手術手技、術後管理を修得し、泌尿器外科医として手術手技の向上を目指すことを目標とする。泌尿器科の基本手技を学んだ後の4-10年目の医師を対象とする。

<コース実績>

コース名: 泌尿器科専門医コース前立腺癌特設

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
中部徳洲会病院	泌尿器科	一般泌尿器科	2名	一般泌尿器科 血液透析	1名	半年~1年
豊見城中央病院	泌尿器科	一般泌尿器科	2名	一般泌尿器科 排尿障害治療	1名	半年~1年
那覇市立病院	泌尿器科	一般泌尿器科	2名	一般泌尿器科 手術、ESWL	1名	半年~1年
中頭病院	泌尿器科	一般泌尿器科	3名	一般泌尿器科 手術	1名	半年~1年
県立北部病院	泌尿器科	一般泌尿器科	1名	一般泌尿器科 地域医療	1名	半年~1年
県立宮古病院	泌尿器科	一般泌尿器科	1名	一般泌尿器科 地域医療	1名	半年~1年
新村病院	泌尿器科	一般泌尿器科	2名	前立腺癌診療 手術手技の修得	3名	1~2年
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	一般泌尿器科 血液透析	4名	一般泌尿器科、手術 排尿障害治療、腎移植	3名	2年
				受入人数	12名	



<コース実績>

琉球大学医学部附属病院では多種・多様な泌尿器科疾患について十分な知識を持ち、必要に応じて適切な治療方針そして対応出来る泌尿器科専門医を養成するために、これまでに上記施設との連携・協力によって、泌尿器科専門医の研修を行ってきた。それによって、30名以上の泌尿器科専門医と20名以上の泌尿器科指導医を養成してきた。新村病院は一民間病院であるが、前立腺癌手術件数では日本一の症例数を誇る病院であり(平成18年度)、九州全土から患者が集まっている。本申請担当大学とは20年来の人的交流があり、これまでも若手医師を派遣し、上記関連病院において術者、助手を務めることにより、手術手技向上を図ってきた。経験できる症例数は、術者として前立腺癌手術50例/年、助手として150例/年である。

<コースの指導状況>

上記の医療機関はそれぞれ地域における基幹病院で、且つすでに初期および後期研修病院として実績を残している施設である。各医療機関の泌尿器科指導医を中心として泌尿器科研修の指導体制も確立しているが、琉球大学医学部附属病院泌尿器科とも綿密な連携をとって研修システムの向上を計っている。新村病院並びに当院は日本泌尿器科学会認定教育施設であり、2名の学会指導医が常勤医として、若手医師の指導を行っている。本申請大学以外にも、鹿児島大学病院、宮崎大学医学部附属病院からの若手医師を受け入れており、指導体制は高い評価を得ている。

<専門医の取得等>

コース名：泌尿器科専門医コース前立腺癌特設

学会等名	日本泌尿器科学会
資格名	泌尿器科専門医、泌尿器科指導医
資格要件	泌尿器科専門医(泌尿器科専門研修4年以上、専門医試験) 泌尿器科指導医(泌尿器科専門医取得5年以上、実績)
学会の連携等の概要	年4回の地方会、年数回の勉強会を行っている。専門医取得に必要な学会参加発表実績を満たすことができるよう支援する。